

## 彫刻基礎演習について

美術教育講座・向川信博

### 1．授業の概要

本授業は、立体を造形するうえでの基本的な考え方や見方を、可塑性のある粘土を用いて模刻し学ぶ、立体デッサンの授業である。受講者は、教員養成課程美術専修一回生5名、造形芸術コース一回生11名で、平面のデッサンは全員経験を積んでいるが、塑造経験者は数名である。

模刻は回数を重ねる必要性を感じており、昨年度までは2点の制作をおこなっていた。しかし石膏取りを入れるとスケジュール的にきびしくなったので、今年度は、模刻一点と、作品台座制作をおこなった。

制作に入る前の粘土練りや、制作台、心棒造りを各自でおこない、制作終了時ごとに出る石膏くずなど廃棄物もそれぞれが処分するようにし、準備と整理を含めて制作とした。終わりに、取り組み姿勢について考え、自己評価をした。

### 2．授業の目的

- ・ 立体造形の基本的な考え方や見方を理解する。
- ・ 粘土を用いた石膏像の模刻を通して造形の基本的な組み立て方を理解する。
- ・ 量感を考える。
- ・ 均衡感を考える。
- ・ 空間を意識する。
- ・ 心棒をつくる。
- ・ 石膏取りができる。

### 3．授業のスケジュール

- 第1回 立体構成の基本的な観点や、制作過程のガイダンス
- 第2回 心棒の制作と粘土の準備
- 第3回 クロッキー
- 第4回 肉付け  
～ 粘土完成・講評
- 第8回 石膏取りについて
- 第9回 石膏雌型制作
- 第10回 粘土かき出し
- 第11回 石膏流し込み
- 第12回 割出し

第13回 割出し・修整

第14回 台座制作

第15回 合評・総括

### 4．用具・材料について

粘土、石膏などの造形材料、粘土用・石膏用篋、道具等は用意されている。

### 5．評価について

取り組み姿勢を勘案し、作品によって評価した。作品評価は、質、完成度のみならず制作過程における追求内容なども含めた。

### 6．アンケートについて

授業の最終日に以下の項目で自由記述によるアンケート調査をおこなった。

施設・設備について、授業内容について、今回の制作実習で学んだこと、それを今後どのようにいかすか、その他。

7．アンケート結果（受講生が記述した文章をそのまま転記する。）

施設・設備について

- ・ 石膏くずの処理がもっと簡単にできたら良いと思った。まあ処理も学びのうちと捉えていたけど、いつも石膏くずが降り積もっている室内は少し不安だった。
- ・ 人数が多すぎて、さがって見たり、下から見たりという、距離をとることがとても大変です。
- ・ 少し狭かったかなあとと思いますが、改装でこれ以上せまくならなければいいなあと思います。
- ・ 人数が多いわりに教室がせまいというか、教室が狭い割に人数が多い。あと換気が・・・
- ・ 少し寒かったです。あと、水道がもう少し多ければ良かったと思ったときもありました。
- ・ もう少し広いスペースで制作できるとやりやすいと思います。
- ・ 粘土の時、狭いと思いました。

- ・ 仕方ないことだけど粉だらけで、空気が悪かった。
- ・ 部屋が人数のわりにせまいと思います。
- ・ 定期的に床掃除をすともっと埃っぽくなくなると思いました（生徒がしなければいけないことですが・・・）
- ・ せまいと思います。扉が閉まりにくいえにすぐ開いてしまいます。
- ・ 石膏を入れるバケツがもう少し大きいといいと思います。
- ・ 寒い。
- ・

#### 授業内容について感じたこと

- ・ 時間配分が適切で、その中で自分の制作を進めることができ、よかった。先生の指導も、言い過ぎずほっときすぎずという感じで、プラスになった。
- ・ 一つの作品を作ることでいっぱいいっぱいでした。数をつくることも大切だとも思うのですが、一つ一つが中途半端になると、心が悲しくなります。
- ・ 特に難しいというのではなく、自分にとって適当だったと思う。時間はもう少し短くても大丈夫だったかもしれない。
- ・ 一つの作品を、時間をかけて制作し、基礎的な勉強ができた。
- ・ 学ぶことが大変多くて、説明についていくのがやっとでした。悩んでばかりで、なかなか進みませんでした。
- ・ 良いと思います。
- ・ 丁寧な授業でわかりやすく、楽しかったです。
- ・ 丁寧に教えて下さいました。
- ・ 初めての彫刻でとても緊張しました。失敗を恐れて、割り出しの作業も思い切れず、手間取りました。
- ・ すべてはじめてのことだったので、出来ていく過程がとても新鮮でした。
- ・ 体力的にしんどくて、今までの2点制作が1点になったのはとても助かりました。
- ・ 一つの作品に集中して制作できたのでよかったと思っています。
- ・ 自分の頭の中に新しい概念が生まれて、良かった。

今回学んだこと、それを今後どのように生かしたいか

- ・ 彫刻の楽しさ奥深さを知り、専攻を選択する上でとても悩む。「かたまりをとらえる」という感覚や、空気感をつかむ勉強がしたい。

- ・ 個人的に立体の制作を行うときに。多分、絵画を選択すると思うので、そのとき立体感の表現に役立つと思う。
- ・ 絵画を続けるつもりですが、この実習で学んだ見方、考え方を生かしていきたいと思います。
- ・ 頭の中で立体的に想像したい。
- ・ 学んだ量塊感覚を、平面での表現に役立てたい。
- ・ 絵をかくとき物の仕組みや組立を考えてかいてみたい。
- ・ これから石膏についてもっと知ってきたいです。
- ・ 二次元的な見方をしていたことに気がついたので、それをかえてみたい。
- ・ 今回の制作で特に塊感を意識したので、これはデッサンの勉強にも繋がるなと思いました。このことを思い出しながら制作を続けていきたい。
- ・ 自分の失敗から学ぶことが多くあったし、他の人からもいろいろ気づかされました。それが新鮮でした。
- ・ 見方も絵画制作時とは、違う感覚でした。このような感覚で、いろいろ取り組んでみたい。
- ・ 立体の造形は、量塊の組立を意識することが基本のひとつだとも思った。この方向から読み解く練習をしてみたい。

#### 8.まとめ

施設・設備については、これまでも重点課題として、改善に取り組んできたが、今回の結果では、ほぼ全員の受講者が、スペースの狭隘さを指摘している。さらに検討し、有効な空間利用をはかりたい。

授業内容については、学生にとって未経験の取り組みであり、また基礎をしっかり学びたいという前向きな気持ちもあって、概ね肯定的な記述になっている。